

2024年5月、「山形大学人材育成プログラム「i-HOPE」2024
新事業創出イノベーションプログラム」が始まりました。
本記事では、2024年6月の講義の様子をご紹介します。



新事業創出イノベーションプログラム「i-HOPE」2024

- 新事業創出に必要な起業家精神と知識・スキルを学ぶプログラム
- 期間は2024年5月から12月の約8か月間
- 隔週土曜日開催で講義日は全17回

●地域課題解決のための自律的で持続可能な仕組みの創出と 起業家人材の育成（6/8）

山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター センター長
講師：小野寺 忠司氏

地域課題解決のための自律的で持続可能な仕組みの創出と、併せて、地域に役立ちたいと思う若者の創業意欲を引き出し、起業家人材として育成することの重要性・必要性について解説していただきました。



●ビジネススプリングボード②～価値を確立する～（6/8）

山形大学客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
講師：廣川 克也氏

5月に引き続き、ビジネススプリングボードを用い、“解決方法＝提供価値が正しく設定されているか”、“実現のために必要なリソースや次のアクションは何か”など、事業の基盤となる項目について解説し、議論と検証を行いました。



●グループワーク②～解決方法の相互検証を行う～（6/8）

山形大学 客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
講師：廣川 克也氏

本講義では、講義の内容を踏まえ、参加者各自が作成しているビジネススプリングボードを用いてグループワークを行いました。様々な業種や立場の方と議論することで、新しい視点や切り口を発見することができました。



●事業を作るということ (6/22)

山形大学 客員教授
シナプテック(株) 代表取締役

講師：戸田 達昭氏

事業を作る上では、ヒト・モノ・カネといった資源はもちろん、地域内の多様なステークホルダーとの連携・協働による課題解決や価値の創出が求められます。本講義では、地域で事業を作る・事業で地域をつくることの本質を学びました。



●ビジネススプリングボード③～事業を構築する～ (6/22)

山形大学 客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長

講師：廣川 克也氏

これまで、「課題の本質」を深掘り、「解決方法」を検証してきましたが、顧客から適正な収益を得なければその事業は継続できません。本講義では、事業構築に必要な要素を解説し、全体像の描き方を解説していただきました。



●グループワーク③～事業仮説を構築し、相互検証を行う～ (6/22)

山形大学 客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長

講師：廣川 克也氏

3回目のグループワークとして、事業計画の全体像の構築と相互検証を行います。このタイミングで、どのようなアイデアを、どのようなチームで検討していくかを仮決定しました。



TOPIC



東北大学青葉山コモンズにて 特別講義を開催

山形県以外の学生や社会人の皆様にも「i-HOPE」を通じてイノベーションマインドを身につけてほしいという思いから、東北大学スタートアップ事業化センターと共同で、i-HOPE 特別講義を6月8日に開催しました。